



2024年度町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会報告

町田市 10 地区をまとめる市連合の市政懇談会が、11 月 11 日に町田市民フォーラムで開催されました。町田市からは、石阪市長をはじめ議題に関係する担当部長が出席して詳細説明を行い、活発な質疑応答が行われました。また、石阪市長から町田市政全般について現状報告がありました。

地域の議題（課題）に関する主な説明は次のとおりです。

1. 「モノレールの早期実現」について

- ・完成に向けたスケジュールは、箱根ヶ崎方面延伸を 2030 年代前半を目指し、町田方面延伸はその 5 年後となる見込みです。そのため、町田都市計画道路 3・4・22 号の整備が必要となります。
- ・モノレール開業までの手順は、①東京都の事業化判断、②地形調査、基本設計及び都市計画の決定、③モノレールの軌道や駅舎の整備、④開業の順となります。
- ・導入空間となる都道の整備などを東京都に働きかけていきます。
- ・毎年市政懇談会などの場で、進捗状況説明会を行います。



2. 「いちのいち無償化のお願い」について

- ・「いちのいち」の導入状況は、2024 年 10 月現在で①登録団体は 156 団体、登録者は 5,000 人となっています。
- ・操作性の改善及び費用負担は、開発元の小田急電鉄株式会社と定期的に打合せをしながら進めます。
- ・国や東京都等のデジタル化支援情報を速やかに情報提供していきます。

3. 「境川の洪水対策」について

- ・神奈川県、東京都に計画的な整備の実施を要望しており、すでに「境川流域水害対策計画」が策定されています。
- ・下流域の藤沢市街地の流下能力がネックとなっていました。現在、藤沢市の境川遊水地辺りまで整備が進んでいます。



4. 「空家対策」について

- ・2024 年度 10 月現在で、改善を促している空き家は 408 件で、改善傾向にあります。
- ・2024 年 12 月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が一部改正されました。
- ・「特定空家等」になる恐れのある空家を「管理不全空家等」と決めました。これにより指導や勧告が可能となりますが、指導を受けると住宅用地特例が解除され、税額が上がります。この制度の周知は、空家等所有者 330 名に通知しています。なお、空家が周辺に危害を及ぼした場合は、原則として所有者の責任となります。

5. 「公園樹木の病虫害対策」について

- ・「ナラ」枯れによって、コナラやクヌギ、シラカシ等のブナ科のナラ類が枯れる樹木で伝染病が蔓延しています。
- ・町田市の公園・緑地のナラ枯れの状況は、2021 年度で約 4,000 本と推定されます。ナラ枯れの樹木の伐採状況は、2021 年度は 166 本、2022 年度は 263 本、2023 年度は 282 本となっています。
- ・公園利用者や近隣住宅に被害が及ぶ恐れのある樹木を優先的に伐採する予定です。

南地区福祉フェア

7月21日(日)10:00~15:00、第5回南地区福祉フェア(主催:南地区福祉フェア実行委員会、協賛:南地区協議会)が南市民センターで開催されました。

本福祉フェアは2018年に初開催され、コロナ禍のため中止された2020年および2021年を除いて毎年開催されています。福祉分野を中心に南地区で活動する38団体が一堂に会し、当日は熱中症警戒アラートが出されるほどの猛暑で参加者は例年より少なかったが、子どもから高齢者まで幅広い世代の多くの人々が来場し、体験型の福祉フェアが大変盛況に行われました。



受付

●交流コーナー

子育てひろば、むかし遊び、多世代交流クイズなど



会場ホール

●福祉機器コーナー

筋肉量・基礎代謝量計測、内臓脂肪レベル測定、毛細血管肌健康チェックなど

●体験コーナー

点字体験学習、囲碁体験、スマホ操作など

●福祉や健康に関する相談コーナー

看護師、社会福祉士による高齢者、障がい者の総合相談、障がい者家族相談、薬剤師による薬相談、ハーブアロマ、口腔ケアなど

●福祉団体PRコーナー

福祉相談、福祉用具展示など

●展示試食コーナー

配食弁当試食、子ども食堂活動案内など

●マッサージコーナー

●手作り品コーナー

夏野菜、菓子パン、手作りジャムなどのコーナーも賑わって福祉分野に特化したイベントということで大変注目されていました。



福祉や健康に関する相談コーナー



福祉機器コーナー



体験コーナー

また、福祉関連の出店団体が出展準備や当日の会場運営を通して相互交流を深めることができる絶好の機会となっているということです。

(編集委員 大坂武男)